

平成 29 年 8 月 16 日
県立九谷焼技術研修所
担当：中田、真下
TEL:0761-57-3340

石川県立九谷焼技術研修所 平成 29 年度夏期講座

「九谷焼における文様判を押す技術（判子技法）の修得」の開催について

- 1 主 旨 九谷焼業界従事者や研修所卒業生などを対象に、技術や知識などを学ぶことを目的に、公開講座を開催します。（今年で 31 回目）
- 2 講座内容 「九谷焼における文様判を押す技術（判子技法）の修得」
判子を用いて図案の輪郭線を描く技術や、判子の種類・入手方法などを紹介し、受講者それぞれの商品作りに取り入れられるよう支援します。

(1) 日 時 平成 29 年 8 月 17 日（木）・18 日（金）

日程	内 容	担 当 者
8 月 17 日（木）	午前 10:00～ 所長挨拶、講師紹介 10:20～11:20 判子について ・判子の種類、歴史、職人の現状 判子を使うメリット・デメリットなどを紹介 11:30～12:00 判子の入手方法について ・価格、店舗、判子の制作過程を紹介	(判子についての講義) 石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会 理事長 吉田 正一 (判子の入手方法紹介) 九谷焼技術研修所 職員 中田 利枝
	午後 13:00～16:30 輪郭線の判押し実習（湯呑み・皿） ・判押し練習 ・課題作品制作（湯呑み・皿） ・彩色の実演（各自の作業は翌日）	(技術指導) 有限会社 九谷陶和社 社員 西田 礼子 社員 江川 美代子
8 月 18 日（金）	午前 10:00～12:00 ・前日焼成した湯呑みと皿に和絵具を載せる	
	午後 13:00～15:30 連続文様の判押し実演（七宝文様） ・実演 ・判押し体験（煎茶碗制作） 15:40～16:00 ・アンケート記入	(実演、技術指導) 有限会社 九谷陶和社 社員 西田 礼子 社員 江川 美代子

(2) 場 所 石川県立九谷焼技術研修所 2 階 視聴覚教室

(3) 対 象 九谷焼業界従事者

3 経緯

九谷焼商品量産のために必要不可欠な「判子」を押す技術の職人数は、高齢化等の理由から減少の一途をたどっています。職人確保は緊急性の高い課題であり、今後一人でも多くの方に判子技法を身につけてもらう必要があります。

判子技法の保存・継承及び今後の発展のため、本講座を開催する運びとなりました。

4 今年度の講座の特徴

量産のための技術「判子」の修得講座を初めて開催

九谷焼においては、作家が制作する一点物の美術品、職人が制作し幅広い客層に届ける量産品の両方がありますが、後者のための技術が公になる機会は少なく、これまで「判子技法」は若い世代への技術継承がほとんど行われていませんでした。

本講座では、判子技法を用いた商品作りに 40 年以上携わる職人が講師を務め、各受講者が皿や湯呑みに判子を押して作品を仕上げ、技術を修得します。

また、石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会理事長が、判子技法の種類や歴史についての講義も行い、技術の保存・後継者育成についてより理解を深めていただく内容です。